

臨床心理学専攻(修士課程)			1年		2年	
			前期	後期	前期	後期
DP1: 知識・理解	1-1	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野等における心理的援助に関する様々な理論や専門的知識を習得している。	保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	心理学研究法特論 I 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	心理学研究法特論 II	心理学研究法特論 III
	1-2	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野等の関連分野についての法律・制度、職業倫理についての知識を有している。	保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	産業・労働分野に関する理論と支援の展開 課題研究 I → 課題研究 II	課題研究 III	
	1-3	臨床心理学関連領域の専門的知識および基礎的な医学知識を有している。	課題研究 I	発達障害臨床特論		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 子どもと親の面接特論 心理学トピック特論 心理学研究法特論 II
DP2: 技能・表現	2-1	種々の心理的アセスメントの技能を習得し、心理に関する援助に応用することができる。	心理的アセスメントに関する理論と実践 I 発達障害臨床特論	心理的アセスメントに関する理論と実践 II	心理実践実習(学内) II	
	2-2	心理状態の観察・分析等の内容について、適切に記録ができ、関係者に説明することができる。	心理実践実習(学内) I 課題研究 I	課題研究 II	心理実践実習(学内) II 課題研究 III	
	2-3	臨床的視点からの研究課題を設定し、適切な研究方法の選択および研究計画を立案し、研究論文としてまとめることができる。	臨床心理学研究法特論 課題研究 I	課題研究 II	課題研究 III	
DP3: 思考・判断	3-1	心理に関する支援を要する人に対して、アセスメント結果を分析し、適切な援助方法を選択・調整することができる。	心理支援に関する理論と実践 I	心理支援に関する理論と実践 II	課題研究 III	
	3-2	守秘義務等の倫理を遵守すること、また、支援を行う関係者の中で、必要な情報共有を行うことについて、適切に判断することができる。	心理実践実習(学内) I		心理実践実習(学内) II 課題研究 III	
	3-3	自ら問題を発見し、問題解決に向けて、報告・連絡・相談を適切に行いながら、提案・発信することができる。	心理実践実習指導(学内) I 心理実践実習指導(学外) I		心理実践実習指導(学内) II 心理実践実習指導(学外) II 課題研究 III	
DP4: 態度・志向性	4-1	援助者として支援を必要とする人とラポールを形成し、適切な関係を構築することができる。	心理実践実習(学内) I		心理実践実習(学内) II 課題研究 III	
	4-2	多職種連携・地域連携について、実習を通して積極的に学び、心理の支援を行う人としての役割を理解することができる。	心理実践実習(学外) I		心理実践実習(学外) II 課題研究 III	
	4-3	自らの臨床実践について責任をもち、スーパービジョンを受けるとともに、学内・学外実習を通して自己研鑽に努める。	心理実践実習指導(学内) I 心理実践実習指導(学外) I		心理実践実習指導(学内) II 心理実践実習指導(学外) II 課題研究 III	

